

《プラチナえるぼしプラス認定企業紹介》

株式会社山陰合同銀行

中四国地方で初の認定！！金融業でも全国2例目！！



株式会社山陰合同銀行（企業外観）

所在地：松江市魚町10

代表者：取締役頭取 吉川 浩

業種：金融業

設立：1941年（昭和16年）

労働者数：2,802人（女性1,648人）

H P：<https://www.yuushien.com/>

認定段階：プラチナえるぼしプラス

管理職に占める
女性労働者の割合
25.7%

正社員（総合職）
女性労働者の割合
48.8%

女性の非正社員から
正社員への転換
10人

不妊治療に関する
研修及びヘルス
ケアセミナーの実施

▶ プラチナえるぼしプラス認定に向けた取組のきっかけ・経緯など

当行では、15年以上前から女性リーダーの育成を重要課題として位置づけ、女性活躍推進に継続的に取り組んできました。また、2024（令和6）年度から開始した中期経営計画では、「10年後に目指す姿」からのバックキャストで戦略・目標を設定し、「財務指標」に加え、「人的資本指標」「社会的インパクト指標」を重視しています。人的資本指標の中では女性管理職比率を重要な指標として位置づけ、経営戦略と一体で女性活躍推進を進めています。さらに、当行では従業員一人ひとりが能力を最大限発揮できるウェルビーイングな職場環境づくりを人的資本戦略の柱とし、育児・介護、不妊治療、治療と仕事の両立支援に加え、女性の健康上の特性への配慮等についても環境整備を進めてきました。

▶ 認定に向けた具体的な取組（工夫・苦勞したこと等）

当行では、人事制度の見直し、キャリア形成支援、職場風土改革を一体的に進めてきました。2022（令和4）年4月にはコース別人事制度を廃止し、年齢や従来の慣行にとらわれず、意欲と能力のある人材を積極的に登用できる仕組みに改めました。あわせて、キャリア開発体系を見直し、OJT、研修、自己啓発を連動させながら、自律的なキャリア形成を支援しています。特に、従来女性が携わることが少なかった法人コンサルティング分野へのリスキリングにおいては、人事部専担者の配置、教育専担者によるOJT、21日間の研修、eラーニング、座談会、好事例共有などを組み合わせ、スキル習得と不安軽減の両面から支援するなど、組織で取り組んできました。

さらに、2022(令和4)年に従業員の発案により女性活躍推進チームを発足しました。女性本人の挑戦への不安と、管理職側の無意識の先入観の双方を変えていくことが課題であると認識し、当行が優先的に取り組むべき施策を経営に提言しました。その提言を踏まえ、女性役員との意見交換会、女性管理職向け研修、管理職向けダイバーシティセミナー等を実施しています。対話やロールモデルの可視化を重ねることで、組織全体の意識改革につながっています。また、女性の健康支援の面でも、頭取メッセージの発信、制度整備、研修、相談体制の整備を通じて、安心して働き続けることができる職場環境づくりを進めてきました。

▶取組の成果・効果等

2021(令和3)年度に内部登用による初の女性取締役の誕生、2024(令和6)年度には内部登用による初の女性代表取締役の誕生等により、女性の取締役比率は38.4%(2026(令和8)年9月現在)となっています。女性管理職比率は、課長相当職以上で25.7%、係長相当職以上では34.1%(2026(令和8)年3月31日、単体)となっており、着実に上昇しています。また、法人コンサルティング分野では、3年間で88名の女性を育成し、行内独自の認定制度で最上位認定を受けた者も生まれています。これにより、女性のキャリアの幅が着実に広がっています。

さらに、第一線で活躍する女性がロールモデルとなることで、後進の挑戦意欲やキャリア意識の向上にもつながっています。山陰に勤務地を限定している女性行員が関西エリアでの短期派遣研修に参加するほか、勤務エリアの限定を解除して山陰以外のエリアで勤務するなど、自律的なキャリア形成の動きも広がっています。

女性の健康支援を含めた取組みは、女性活躍推進にとどまらず、従業員エンゲージメントの向上や組織の一体感醸成にも寄与していると考えています。

▶今後について

引き続き、仕事との両立支援施策を進め、すべての従業員が安心して能力を発揮できるより良い職場環境の構築を目指しています。今後も、多様な人材が活躍し、その中から次世代のリーダーが着実に育つ組織づくりを通じて、地域とともに持続的に成長していきます。



(女性活躍推進チームのメンバー)



(女性役員との座談会の様子)